

# Quest® NetVault® Backup Plug-in for MySQL 12.2

## リリース・ノート

2019年1月

本リリース・ノートには、Quest® NetVault® Backup Plug-in for MySQLのリリースに関する情報が記載されています。

トピック:

- このリリースについて
- 拡張機能
- 廃止された機能
- 既知の問題
- システム要件
- 製品ライセンス
- アップグレードおよびインストールの手順
- 追加リソース
- グローバリゼーション
- 企業情報

## このリリースについて

Quest NetVault Backup (NetVault Backup) Plug-in for MySQL (Plug-in for MySQL) 12.2は、拡張機能が含まれたマイナー・リリースです。製品の詳細なドキュメントは下記サイトからご覧いただけます。  
<https://support.quest.com/ja-jp/technical-documents>

# 拡張機能

次は、NetVault Backup Plug-in for MySQL 12.2に実装されている拡張機能のリストです。

表 1. 一般的な拡張機能

拡張機能	問題 ID
MySQL Community Server 8.0 のサポートを追加しました。MySQL Community Server 8.0 の機能がサポートされていることに注意してください。ただし、MySQL Enterprise バックアップ 8.0 は現在サポートされていません。	DNMYSQL-397
MariaDB 10.2 および 10.3 のサポートを追加しました。	DNMYSQL-287、 DNMYSQL-404、 DNMYSQL-405
大きなテーブルを複数含むバックアップ・ジョブが処理されるときに、データベースのターゲットとの接続が維持されるように、プラグインを更新しました。	DNMYSQL-406
<b>[設定]</b> ダイアログ・ボックスに含まれる <b>[MySQL エディション]</b> リストに <b>[MariaDB Server]</b> (MariaDB サーバー) が追加されました。	DNMYSQL-415

# 廃止された機能

NetVault Backup Plug-in for MySQL 12.2以降の次の機能はサポートされなくなりました。MySQL 5.1のサポート (DNMYSQL-409)

# 既知の問題

サードパーティ製品に起因する問題を含む、リリース時に確認されていた問題は以下のとおりです。

表 2. 一般的な既知の問題

既知の問題	問題 ID
MySQL のバグ <a href="#">69953</a> により、MySQL のログが有効になっていると、MySQL Server 5.5 または 5.6 にリストアを実行しても、 <b>mysql</b> データベース内の既存の <b>slow_log</b> テーブルを削除できません。したがって、同じテーブルをリストアできません。環境に <b>slow_log</b> テーブルが不可欠な場合は、リストア・ジョブの完了後に手動で <b>slow_log</b> テーブルを再作成してください。この問題は MySQL 5.7 で修正されています。	DNMYSQL-319 (30852)
バックアップ・データはMySQLサーバーから直接NetVault Backupメディア・マネージャにストリーミングされるため、データベース名に特殊文字を使用するとシーケンス・コマンドとして解釈され、バックアップ・データの整合性に影響を与える場合があります。 <b>対処法:</b> 潜在的な問題を回避するために、データベース名に次の文字を使用しないでください。\$ ^ = @ # % +	DNMYSQL-379

表 3. MySQL Standard/Community の既知の問題

既知の問題	問題 ID
<p><b>lower_case_table_names</b> システム変数のデフォルト設定は、Mac OS X での MySQL の動作に影響します。Mac OS X プラットフォーム上の MySQL では、大文字と小文字を区別する動作が一貫していないため、バックアップをリストアするプラグインの機能に影響があります。この不整合に対処するには、Mac OS X でプラグインを使用するときに、以下の事項に注意する必要があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>lower_case_table_names</b> システム変数が 1 に設定されている場合、小文字、大文字、またはそれらが混在する名前を使用して作成されたデータベースでは、増分リストアが正しく機能します。また、実際の名前の作成方法に関係なく、データベース名は NetVault Backup コンソールに小文字で表示されます。</li> <li>• <b>lower_case_table_names</b> システム変数が Mac OS X のデフォルト設定である 2 に設定されている場合、小文字の名前を使用して作成されたデータベースに対してのみ増分リストアが正しく機能します。また、データベース名は、作成時と同じ形式で NetVault Backup コンソールに表示されます。</li> </ul>	<p>DNMYSQL-133 (18430、 MYG-235)</p>
<p>lower_case_table_names システム変数の値を変更した場合は、MySQL サーバーを停止して再起動し、変更が実装されていることを確認します。この MySQL 関連の問題の詳細については、次を参照してください。<a href="http://dev.mysql.com/doc/refman/5.0/en/identifier-case-sensitivity.html">http://dev.mysql.com/doc/refman/5.0/en/identifier-case-sensitivity.html</a></p>	
<p><b>[MySQL レプリケーションを可能にする]</b> を選択してレプリケーションを設定しない場合、バックアップが失敗します。<b>[設定]</b> ダイアログ・ボックスで <b>[MySQL レプリケーションを可能にする]</b> チェック・ボックスをオンにして、レプリケーションを設定しない場合、バックアップが失敗します。この問題を修正するには、<b>[設定]</b> ダイアログ・ボックスの <b>[MySQL レプリケーションを可能にする]</b> チェック・ボックスをクリアするか、レプリケーションを設定してバックアップ・ジョブを再実行する必要があります。</p>	<p>DNMYSQL-241 (21629)</p>

表 4. MySQL Enterprise バックアップ (MEB) の既知の問題

既知の問題	問題 ID
<p>特定の条件下では、すべての InnoDB テーブルがバックアップされます。以下の条件に適合すると、MySQL インスタンス内のすべての InnoDB テーブルがバックアップされます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>ただし、テーブルがバックアップ用に明示的に選択され、テーブルが InnoDB ストレージ・エンジンまたはその類ではない場合に限りません。                     <p>例: 2つのデータベースを含むMySQLインスタンスが配置されています (DB1 および DB2)。各データベースには2つのテーブルが含まれます。DB1にはT1_InnoDBとT1_MyISAM、DB2にはT2_InnoDBとT2_MyISAMが含まれます。T1_MyISAMとT2_MyISAMをバックアップすると、T1_InnoDBとT2_InnoDBもバックアップに含まれます。InnoDBテーブルの1つを含めると、InnoDBテーブルのみがバックアップされます。データベースの1つを選択すると、データベース内のテーブルのみがバックアップされます。</p> </li> <li>いくつかまたはすべてのデータベースがバックアップに選択されると、すべての関連 InnoDB テーブルがバックアップから除外されます。                     <p>例: 2つのデータベースを含むMySQLインスタンスが配置されています (DB1 および DB2)。各データベースには2つのテーブルが含まれます。DB1にはT1_InnoDBとT1_MyISAM、DB2にはT2_InnoDBとT2_MyISAMが含まれます。DB1とDB2をバックアップし、T1_InnoDBとT2_InnoDBを除外すると、T1_InnoDBとT2_InnoDBもバックアップに含まれます。2つの InnoDB テーブルのうち1つだけを除外すると、InnoDB テーブルのみがバックアップされます。</p> </li> </ol> <p>この動作は、現在の MEB (<code>mysqlbackup</code> ユーティリティ) の動作を表していますが、今後のリリース (3.8.1 以降) では変更される可能性があります。</p>	DNMYSQL-275 (22383)
<p>このプラグインでは、クラスタ環境での MEB ベース・バックアップ方法のバージョン 3.12 および 4.0 の使用はサポートしていません。これらのバージョンは、スタンドアロン環境でのみ使用できます。</p>	DNMYSQL-363 (32199)

## システム要件

Plug-in for MySQL 12.2 をインストールする前に、お使いのシステムが『Quest NetVault Backup 互換性ガイド』 (<https://support.quest.com/technical-documents> で入手可能) に記載の要件を満たしていることを確認してください。

## アップグレードと互換性

- Plug-in for MySQL 12.2 では、NetVault Backup 11.4.5 以降が必要です。サポートされるプラットフォームの詳細については、『Quest NetVault Backup 互換性ガイド』を参照してください。
- MySQL のアップグレードと新規インストール:** MySQL のバグ 68807 で説明したように、`mysql_install_db` は MySQL 5.6 の `/etc/my.cnf` を無視します。MySQL 5.6 では InnoDB 統計テーブル (`slave_master_info`、`mysql/slave_relay_log_info`、`innodb_index_stats`、`innodb_table_stats`、および `slave_worker_info`) を作成して MySQL のインストール・ディレクトリ (`basedir`) に追加するため、「`my.cnf`」ファイルに含まれている `innodb_data_file_path=ibdata1:2000M;ibdata2:10M:autoextend` オプションと競合する可能性があります。`file_path` オプションでは、InnoDB ファイルが `basedir` より1つ上のディレクトリ・レベルに配置されます。これにより、MySQL エラー・ログに次のエラーが表示される場合があります。

```
"[Warning] InnoDB: Cannot open table mysql/slave_master_info from the internal data dictionary of InnoDB though the .frm file for the table exists. See
```

<http://dev.mysql.com/doc/refman/5.6/en/innodb-troubleshooting.html> for how you can resolve the problem."（「[警告] InnoDB: テーブル用の .frm ファイルが存在しますが、テーブル mysql/slave\_master\_info を InnoDB の内部データ・ディクショナリから開けませんでした。http://dev.mysql.com/doc/refman/5.6/en/innodb-troubleshooting.html を参照してください。」）

このエラーを解決するまで、プラグインはメインの MySQL データベースを参照できず、次のエラーが表示されます。"Failed to fetch row from query result: showtable status like 'innodb\\_index\\_stats'"（「クエリ結果の行を取得できませんでした : 'innodb\\_index\\_stats' などの showtable ステータス」）

また、バックアップ・ジョブが応答しなくなることもあります。

このオプションは、旧バージョンのMySQLの推奨サンプル・ファイル「my.cnf」に由来するため、通常、この問題は旧バージョンの「my.cnf」ファイルを保持しているアップグレードまたは新規インストールで発生します。Questでは、新規インストールでfile\_pathオプションを使用しないこと、およびアップグレードではibdataファイルをbasedirに移動することをお勧めします。サポートが必要な場合は、MySQLサポートにお問い合わせください。(22367)

- **NetVault Backupサーバーを9.2からアップグレードする:** NetVault Backupサーバーを9.2から11.4.5以降にアップグレードすると、Plug-in for MySQLで発生したエラー条件に対する設定がデフォルトに戻ります。プラグインで発生したエラー条件の設定を変更した場合、Questはプラグインの再インストール、再設定、およびMySQLバックアップ・ジョブの再作成をお勧めします。

## 製品ライセンス

NetVault Backupサーバー環境でライセンス・キーを取得するには、メインNetVault BackupサーバーのNetVaultマシンIDを確認します。また、OracleやMySQL、PostgreSQL、SQL Server、Exchangeなどのアプリケーション・プラグインを実行しているクライアントのマシンIDも確認する必要があります。

NetVault設定ウィザードを使用して、製品のライセンス・キーをインストールできます。代わりに[クライアント管理]ページからライセンス・キーをインストールすることもできます。

- [マシンIDの取得](#)
- [設定ウィザードを使用したライセンス・キーのインストール](#)
- [\[クライアント管理\]ページからのライセンス・キーのインストール](#)

## マシン ID の取得

- 1 NetVault Backup WebUIを起動します。
- 2 [ナビゲーション] パネルで、[クライアント管理] をクリックします。
- 3 [NetVault Backup Clients] リストで利用可能なマシンを選択し、[管理] をクリックします。
- 4 [クライアント表示] ページで、マシンIDと正確に同じものが [クライアント・サマリ] テーブルに表示されます。

# 設定ウィザードを使用したライセンス・キーのインストール

- 1 [ナビゲーション]パネルで、[ガイド付き設定]をクリックします。
- 2 [NetVault設定ウィザード] ページで、[ライセンスのインストール] をクリックします。
- 3 [NetVault Backup Clients] リストで利用可能なマシンを選択し、[次へ] をクリックします。
- 4 [ライセンス・キー文字列の入力] ボックスに、ライセンス・キーを入力するか、またはコピーして貼り付けて、[実行] をクリックします。  
キーが正常に適用されると、メッセージが表示されます。

## [クライアント管理] ページからのライセンス・キーのインストール

- 1 [ナビゲーション]パネルで、[クライアント管理]をクリックします。
- 2 [NetVault Backup Clients] リストで利用可能なマシンを選択し、[管理] をクリックします。
- 3 [クライアント表示] ページで、[ライセンスのインストール] をクリックします。
- 4 [ライセンスのインストール] ダイアログ・ボックスに、ライセンス・キーを入力するか、またはコピーして貼り付けて、[実行] をクリックします。  
キーが正常に適用されると、メッセージが表示されます。
- 5 ダイアログを終了するには、[閉じる] をクリックします。

## アップグレードおよびインストールの手順

アップグレードおよびインストール手順の詳細については、『Quest NetVault Backup Plug-in for MySQLユーザーズ・ガイド』を参照してください。

- i** | **重要:** プラグイン名が変更されているため、4.4より前のバージョンを使用している場合は、必ず既存のプラグインを削除してから新しいバージョンをインストールしてください。そうすることで確実に、前のプラグイン名が入った項目が削除されてから、新しい名前の項目がインストールされます。

## 追加リソース

以下から追加情報を入手できます。

- [オンライン製品ドキュメント](#)
- [NetVaultコミュニティ](#)

# グローバル化

ここでは、北米以外の地域のお客様に必要な、この製品を英語以外の言語設定でインストールして構成する方法を説明します。このセクションで説明する内容は、他の製品マニュアルに記載されているサポート対象プラットフォームや設定などの情報に代わるものではありません。

本リリースでは、シングル・バイトまたはマルチ・バイトのあらゆる文字セットに対応しています。本リリースでは、すべての製品コンポーネントを、同じ文字エンコードまたは互換性のある文字エンコードを使用するように設定し、同じロケールおよび地域オプションを使用するようにインストールする必要があります。このリリースを利用できる対象地域は次のとおりです。北米、西ヨーロッパ、ラテンアメリカ、中央ヨーロッパ、東ヨーロッパ、極東アジア、日本。双方向のテキスト(アラビア語とヘブライ語)をサポートしています。

本リリースは次の言語にローカライズされています: 中国語(簡体)、フランス語、ドイツ語、日本語、韓国語。

## 企業情報

Questは、急速に変化する企業ITの世界にソフトウェア・ソリューションを提供します。データの急増、クラウドの拡張、ハイブリッド・データセンター、セキュリティの脅威、規制要件によって生じる課題を簡素化することができます。弊社は、Fortune 500の95%の企業およびGlobal 1000の90%の企業など、100か国におよぶ130,000社に対するグローバル・プロバイダーです。1987年以来、データベース管理、データ保護、IDおよびアクセス管理、Microsoftのプラットフォーム管理、統合エンドポイント管理などのソリューションのポートフォリオを構築してきました。Questにより、組織はIT管理に費やす時間を短縮し、ビジネスの革新に費やす時間を増やすことができます。詳しくは、以下を参照してください。 <http://www.bakbone.co.jp>

## テクニカル・サポート用リソース

テクニカル・サポートは、Questの有効な保守契約を締結している場合、または試用版を保有している場合にご利用いただけます。Questサポート・ポータル (<https://support.quest.com/ja-jp>) にアクセスすることができます。

サポート・ポータルには、問題を自主的にすばやく解決するために使用できるセルフヘルプ・ツールがあり、24時間 365日ご利用いただけます。サポート・ポータルでは次のことを実行できます。

- サービス・リクエストの送信と管理。
- ナレッジベース記事の参照。
- 製品に関するお知らせへの登録。
- ソフトウェアと技術文書のダウンロード。
- 入門ビデオの閲覧。
- コミュニティ・ディスカッションへの参加。
- サポート・エンジニアとのオンライン・チャット。
- 製品に関する支援サービスの表示。

© 2019 日本クエスト・ソフトウェア株式会社

ALL RIGHTS RESERVED.

本書には、著作権によって保護されている機密情報が記載されています。本書に記載されているソフトウェアは、ソフトウェア・ライセンスまたは機密保持契約に基づいて提供されます。本ソフトウェアは、当該契約の条項に準拠している場合限り、使用または複製することができます。本書のいかなる部分も日本クエスト・ソフトウェア株式会社の書面による許可なしに、購入者の個人的な使用以外の目的で、複写や記録などの電子的または機械的いかなる形式や手段によっても複製または転送することはできません。

本書には、Quest Software 製品に関連する情報が記載されています。明示的、黙示的、または禁反言などを問わず、本書または Quest Software 製品の販売に関連して、いかなる知的所有権のライセンスも付与されません。本製品の使用許諾契約の契約条件に規定されている場合を除き、QUEST SOFTWAREはいかなる責任も負わず、製品に関連する明示的、黙示的または法律上の保証(商品性、特定の目的に対する適合性、権利を侵害しないことに関する黙示的保証を含む)を否認します。QUEST SOFTWAREは、損害が生じる可能性について報告を受けたとしても、本ドキュメントの使用、または使用できないことから生じるいかなる、直接的、間接的、必然的、懲罰的、特有または偶発的な障害(無期限、利益の損失、事業中断、情報の損失も含む)に対しても責任を負わないものとします。Quest Software は、本書の内容の正確性または完全性について、いかなる表明または保証も行わず、通知なしにいつでも仕様および製品説明を変更する権利を有します。Quest Software は、本書の情報を更新する一切の義務を負いません。

本文書の使用に関してご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

日本クエスト・ソフトウェア株式会社  
宛先: 法律部門  
東京都新宿区西新宿6-10-1  
日土地西新宿ビル13F

日本国内および海外の事業所の情報に関しては、弊社のWebサイト(<https://www.quest.com/jp-ja>)を参照してください。

#### 特許

高度なテクノロジーはQuest Softwareの誇りです。特許および出願中の特許がこの製品に適用される可能性があります。この製品に適用される特許に関する最新情報については、<https://www.quest.com/jp-ja/legal>の弊社Webサイトを参照してください。

#### 商標

Quest、Questロゴ、およびNetVaultは、日本クエスト・ソフトウェア株式会社の商標および登録商標です。Questの商標の詳細な一覧については、<https://www.quest.com/jp-ja/legal/trademark-information.aspx>を参照してください。その他すべての商標および登録商標は各社に帰属します。

#### 凡例

- **警告:** 警告アイコンは、潜在的な資産の損害、個人の負傷または死亡の可能性を表しています。
- ⚠ **注意:** 注意アイコンは、指示に従わなかった場合に、ハードウェアの損傷やデータの損失につながる可能性があることを表しています。
- i **重要、メモ、ヒント、モバイル、またはビデオ:** 情報アイコンは、サポート情報を表しています。